

上野総合市民病院だより



平成28年2月号(通刊第9号)

企画:伊賀市立上野総合市民病院
病院機能再開発センター

発行:伊賀市立上野総合市民病院

『外来透析の適応と導入のタイミング』



腎臓の機能が正常の10~15%以下になると、一般的には、人工透析を実施した方が良いでしょう。

腎機能が15%以上であっても、尿毒症の症状や高カリウム血症、心不全などが改善されない場合も、透析実施の適応となることがあります。

透析導入時期に影響を及ぼす因子の一つとして、腎性貧血症状が上げられますが、これに関しては平成5年より、造血剤注射の外来実施が透析導入前の腎不全患者様に適応となったことから、腎性貧血増悪にともなう透析導入というケースは現在は格段に少なくなりました。

透析導入の主な基準としては

- ①BUN: 60mg/dl以上
- ②Cr: 5mg/dl以上
- ③血清K値6.0mEq/L以上で、薬剤での低下が不可能な場合
- ④尿毒症症状、出現時

といったことが上げられますが、もちろん上記の状態になる前の段階で、当科に御紹介頂けたら幸いです。

外来透析導入を実施するにも、前もって計画を立て、患者様への影響と安全を考え、入院透析という形でスタートし、透析経過の安定化を確認してから外来透析への移行が理想的です。透析用のシャント作成に関しましては、田中副院長先生が担当して下さいます。人工透析は、その名のとおり『人工的な』医療行為ですので、透析中、または透析終了後に、全身状態が急変することもあります。

当院の強みは、透析患者様の全身状態急変時に、そのまま入院加療、入院透析に即座に移行できるバックアップ体制が整っているということです。

今後も、透析患者様には『安全』を、患者様を支える御家族様には『安心』を与える透析医療を実践してまいります。

腎臓内科 清水 浩一

透析室のご案内

当院透析室は、三重県西部地域の基幹病院の透析室として、安心・安全で患者さんの生活に寄り添った透析医療の提供を目指し、日々患者さんのケアを行っています。

当院透析室は、34床のベッドを有し、月・水・金の午前・午後、火・木・土の午前の3クールで、4～5時間の透析治療を行っています。現在44～88歳（平均年齢68.6歳）、48名の患者さんが通院されています。スタッフは医師4名（非常勤3名）、看護師8名、臨床工学技士4名、看護助手1名、クラーク1名で、透析に通院されている患者さんを支えています。一人の患者さんに対し、看護師と臨床工学技士のペアで受持ち制をとっており、日々の看護やシャントの管理に努めています。

一般的に「透析=人生の終わり」のようなマイナスのイメージを持たれがちですが、本来透析治療は社会復帰を目的としており、当院に通院されている患者さんも、治療を受けながら旅行や趣味、仕事にと、自分の時間を有意義に過ごしておられます。

近年、急速に少子高齢化が進んでおり、当院の患者さんも高齢化してきています。高齢患者さんは透析以外の疾患を持っておられる方も少なくありません。当院は総合病院という利点から、各科外来での対応や、医療連携を通じて大学病院や近隣病院とのスムーズな連携が図れ、患者さんにとってのよりよい治療の選択にも対応しております。

透析患者さんがより充実した毎日を過ごしていただけるように、患者さんの声に耳を傾け、思いに寄り添えるよう日々努力していきたいと思っています。



当院での透析をご希望の方は、地域医療連携室（0595-41-0061）へ是非お問い合わせください。

透析室師長 稲森 由佳

* 医療WEBセミナーが開催されました

2月3日（水）18時30分より、当院2階大会議室にて医療WEBセミナーが開催されました。

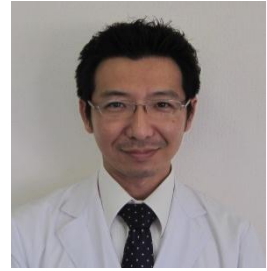
【演題】『平成28年度診療報酬改定について
～急性期医療を中心として～』

【講師】 独立行政法人地域医療機能推進機構
東京山手メディカルセンター 院長 万代 恭継先生



新任医師のご案内

平成28年1月より伊賀市立上野総合市民病院に赴任しました
奥川 喜永(おくがわ よしなが) と申します。皆様どうぞよろしく
お願いいたします。



平成15年に三重大学医学部を卒業後、東京の聖路加国際病院
で初期研修を終了し、三重大学医学部附属病院と桑名西医療セン
ター(旧桑名市民病院)を中心にこれまで約13年間、消化器腫瘍外科を中心に修練を行ってま
いりました。

食生活の欧米化と高齢化社会により、今や日本人の三人に一人が癌を発症する時代です。伊
賀地域という、地域的特性を踏まえながら、外科的治療から抗癌剤や分子標的剤を含む内科的
治療、症状緩和を目的とした緩和ケアの三つの治療を分け隔てすることなく、融合する形で患者
さま一人一人のニーズに合った、中小規模の病院にしかできない、柔軟な癌治療を心がけていき
たいと考えております。

松阪市出身ですが、伊賀地区での勤務は初めてのこととなり、慣れないことも多いかと思いま
すが、伊賀市の地域医療に少しでも貢献させていただきますよう、日々努めさせていただきます
ので、よろしくお願いいたします。

* 院内講演会のお知らせ

医療機関を含め、地域の皆様のご参加も歓迎いたします。



●「市民病院院内講演会」

2月10日(水) 18:00~19:00 上野総合市民病院 西館1階会議室

【講演】

『新しいコンセプトによる手術室の機構的運用』

松阪市民病院 手術室室長(麻酔科) 奥田 真弘 先生

●「伊賀・名張 臨床腫瘍講演会」

3月3日(木) 18:00~19:00 上野総合市民病院 西館1階会議室

【特別講演】

座長 伊賀市立上野総合市民病院 副院長 田中 基幹

『高齢者における化学療法と支持療法のポイント』

大阪大学大学院医学系研究科

消化器癌先進化学療法開発学

教授 佐藤 太郎 先生

* キャンサーボード(Cancer Board)の開催について

第9回キャンサーボードが2月5日(金)に開催されました。

今回は消化器・肝臓内科部長 八尾隆治医師より「肝炎・肝癌の治療」と題してミニレクチャーが行
われました。

次の開催予定は、3月4日(金)15時から(於 2階大会議室)です。

キャンサーボードへは他医療機関からのご参加を歓迎いたします。